

## 第31回わくわく交流会を開催

茨城県婦協は、6月22・23日にいこいの村酒沼でわくわく交流会を開催しました。コロナにより中止していたので5年ぶりの開催でした。参加者は42人とコロナ前よりは少なかったようですが、久しぶりに会った参加者と楽しく過ごせたと思います。



### 分科会の紹介

- ① 共済会の健康まつりでも好評だったスポーツ吹矢。お子さんから高齢の方までだれでも楽しめる、だけどそんなに簡単でもない「ちょうどいいスポーツ」。初めての方も、経験者も楽しめたようです。
- ② 鹿行民商の野口さんを講師に音楽に乗せて体操。普段、運動不足を実感しながら目を背けている参加者は汗だく。講師の姿勢の良さと体幹の強さに見入りながら、全身くまなくストレッチしました。
- ③ 県南民商がクリスマスの前に行っているリースづくり。カットしたカラフルな布（端切れ）で円形に配置していきます。どの色をどう並べるかは自由なので個性が出ます。
- ④ 土浦民商の金野さんがお茶をたててくれる茶話会。お作法を習いながらいただきました。年をとっても仕事は頑張っちゃうのよねというお話や、水戸民商の佃さんの議員活動に要求運動が活かされているという話を聞くことができました。

夜の交流会（要は宴会）では毎回出し物が民商ごとに行われていたそうですが、今年は「任意で」ということになりました。県南民商の日舞、日立民商のダンス（エクササイズ？）、鹿行民商のブギウギダンス、土浦民商の合唱が披露されました。出し物の後は自由にカラオケをとなりましたが、時間いっぱいみなさん歌い続けていました。はじめてましたね、とくに鹿行民商のみなさんが（写真は自重します笑）。

2日目には、昨年の全国業者婦人決起集会のDVDを見ました。茨城はちょっとしか映ってなかったんですけど、司会の江口さんからは「行くと元気になるから、次はもっとたくさんで行きましょう」とお誘いがありました（集会の様子は142号にて）。

また、鹿行の石毛さんから民商との出会いが語られ、そのあと各民商婦人部の様子が報告されました。活動があまりできていなかったけど茶話会を月イチでやることにした、56条請願採択を最低もう1自治体勝ち取りたい、新しい役員を見つけない、料理教室を再開したい...などなど。

写真ニュース（別刷）もあります。ご覧ください。